資料　5

NIMS

ナノテクノロジーネットワークの構築

1．ネットワークの必要性
2．ネットワークの機能や特徴
3．物質・材料研究機構の今後の取り組み

平成13年7月16日

独立行政法人　物質・材料研究機構
理事長　岸　輝雄

NIMS

我が国のナノテクノロジーの特徴と課題

1. 研究レベルと課題

- ナノデバイス、ナノ複合材料で世界を先導
- 個別研究に充分強い　⇔　横のつながりが悪い
- 要素技術に強い　⇔　システム化に課題有り

2. 今後の取り組み方

- ナノテクノロジー　→　分野横断的な基盤技術
- 重点化、後方支援、戦略性の3つのキーワード

☆研究開発拠点の設定

☆20年以降の実現を目指した研究の重点化

☆研究支援者の育成と確保

☆産官学の有機的なネットワーク中枢とネットワーク構築

NIMS

ナノテクノロジーネットワークの必要性

1. 情報収集・発信の統合

- 多分野融合型のため、現在は情報の発信元、発信先がばらばら
  →情報発信・発信の統合が重要（萌芽プロジェクトの発散を防ぐ）
- 一般用ナノテク情報センターの設立
  →国民へのナノテクの理解を深める

2. ネットワークによる円滑な研究推進

- データベース・データシート等の情報発信、シンポジウム開催
  →ネットワークで研究拠点間を繋ぐことで効率よく推進
- 産官学連携、国際協力、実用化のコーディネート
  →研究拠点間を俯瞰的に見渡せるネットワークセンターが必要

NIMS

ナノテクノロジーネットワークセンターに必要な機能

1. 情報収集・発信の中枢

- 国内におけるナノテク情報発信の中核
- World Materials Network との連携等海外とのリンク

2. 施設共用のコーディネート

- 大型研究施設の有効利用

3. 海外連携の拠点

4. 人材交流の橋渡し

- ネットワーク連携研究機関間での人材育成・交流の支援

5. 実用化支援

- ネットワークを利用した効果的実用化支援